

## 今、伝えたいこと～フロントローディング～

皆さま、こんにちは。九州では活発な梅雨前線の影響による大雨やダブル台風の列島接近、東北や関東では震度6強の地震等、6月末には各地で自然災害が相次ぎました。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、設計業務に携わる中で私が特に重要だと感じているのが「フロントローディング」の考え方です。フロントローディングとは、プロジェクトの初期段階で課題やリスクを洗い出し、できる限り早い段階で検討や調整を行うことです。後工程で発生する手戻りやトラブルを減らし、品質の向上と業務の効率化につながる重要な取り組みです。

そのためには、何よりも「事前準備」が欠かせません。打合せの前に資料を確認する、設計条件を整理する、想定される課題を検討しておく、プロジェクトメンバーへ共有する。このような小さな積み重ねが、プロジェクト全体の円滑な進行に繋がります。準備に費やした時間は決して無駄にはならず、むしろ大きな成果を生み出すための投資だと考えています。

また、良い仕事を進めるためには「信頼関係の構築」も重要です。社内の仲間はもちろん、お客様や協力会社の皆さまと信頼関係を築くことで、課題が発生した際にも率直な意見交換ができ、より良い解決策を見つけることができます。信頼は一朝一夕に生まれるものではなく、日頃の誠実な対応や約束を守る姿勢の積み重ねによって築かれるものです。

そして、変化の激しい時代だからこそ、一人ひとりの「スキルアップ」がこれまで以上に求められています。新しい設計手法やデジタル技術を学ぶことはもちろん、コミュニケーション力や課題解決力を磨くことも大切です。学び続ける姿勢が、自身の成長だけでなく、会社全体の成長にも繋がります。

これからも事前準備を大切に、信頼関係を築きながら、常にスキルアップを目指していきましょう。その積み重ねが、お客様により良い設計サービスを提供し、会社の未来を支える力になると信じています。

(代表取締役 岩本 茂美)



★お肉が美味しい♪★



**岩本 茂美** (いわもと しげみ) 株式会社傳設計 代表取締役

### ＜最近のこと＞

早めに出社し、できる限り「定時で退社」を心掛けています。定時退社を実践するには、就業時間内に業務を完了できるように仕事の優先順位を決め、タスクを整理する等、具体的な計画が必要となります。確定したスケジュールはWEBで管理していますが、タスクの整理や確認は昔からノートに手書きが一番！ 時間を有効活用し、しっかりと食事いただきます！ To doやチェックリスト、皆さまはどのような方法がおすすですか？

## ★2026年度サマーインターンシップ★



★前回の報告会の様子★

今年もサマーインターンシップを開催いたします。

内容は、BIM(3DCAD)のRevitというソフトを使用し、建物(マンション)をモデル化し、設計していただくという実践的なプログラムです。

弊社は、会社を挙げてRevitに取り組んでおり、若い社員のみでなくベテランの社員も日々スキルを磨いています。そういう環境で、実務に近い課題をやっていただきます。

「難しそう・・・」と不安にならなくても大丈夫です。若手社員がしっかりサポートし、分からないところと一緒に解決していきます。

また、お昼は自慢の社員食堂で社員と交流しながらランチを提供いたします。

◆開催時期 ※3日程度の短期プログラムもご相談に応じます。

- |                               |                               |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ① 2026年8月 3日(月)～2026年8月 7日(金) | ② 2026年8月17日(月)～2026年8月21日(金) |
| ③ 2026年8月24日(月)～2026年8月28日(金) | ④ 2026年8月31日(月)～2026年9月 4日(金) |
| ⑤ 2026年9月 7日(月)～2026年9月11日(金) | ⑥ 2026年9月14日(月)～2026年9月18日(金) |

◆募集定員:なし

◆応募方法:弊社ホームページエントリーフォームより、お気軽にお問い合わせください。

(古賀)

## ★情報共有で大事にしていること★

皆さん、こんにちは。沖縄で監理業務を担当している八尋です。

監理業務は簡単に言うと、建設会社とは独立した専門家としての立場で、設計図書に示してある設計の意図と背景にある法令基準を守りながら工事が行われているかを確認し、場合によっては助言、指導する業務です。その情報伝達手段としてメールやWEB会議ツールを当たり前に使いますが、実際の現場ではメール文面や図面資料だけでは伝わりきれない部分も多くあるため、私はできる限り直接会って話すことや、少なくとも電話での連絡を大切にしています。

寸法や仕様は図面に記載できませんが、「どのような設計意図でその形状にしているのか」「鉄筋の配筋で絶対に守らなければならないポイント」といった細かいニュアンスまでは、文字や線だけでは十分に表現できないことがあります。手書きのメモを交えながら説明や打合せを重ねていくことで、図面上では気づきにくい納まりや施工上の注意点を共有しやすくなります。また、その場で施工担当者の意見や疑問を聞くことで、設計側では想定できていなかった課題に気づけることもあります。

建物づくりは、設計者だけで完結する仕事ではありません。多くの関係者が同じ方向を向き、それぞれの立場で調整しながら進めていく必要があります。だからこそ、図面を「渡して終わり」にするのではなく、対話を重ねながら認識を合わせていくことが大切だと感じています。

係者が同じ方向を向き、それぞれの立場で調整しながら進めていく必要があります。だからこそ、図面を「渡して終わり」にするのではなく、対話を重ねながら認識を合わせていくことが大切だと感じています。



(八尋)

### NEW&HOT

## 設計業務 TOPIX



★入社式★

こんにちは。設計部の神前です。今年の4月に入社して3ヶ月が経ちましたが、まだ慣れない環境で戸惑うことが多い毎日です。

今は、3DソフトのRevitで図面の修

正・確認作業をしています。入社前にアルバイトをしてRevitを学んでいましたが、まだまだ操作に慣れず、先輩方に分からないところを教えてくださいながら作業を進めています。その他に書類作成の補助も行っています。

私は叔父が建築業に携わっていたので、幼いころから建築に興味を持っていました。そのため高校から工業科に入学し、専門学校に進学、これまでの経験や学びを活かしながら成長していける職場だと感じ、傳設計を志望しました。インターン

シップを通して社内の雰囲気や先輩の人柄等に惹かれた、というのも入社を決意した理由の1つです。

入社して3ヶ月、仕事をすることで何が大切なのかを改めて考えています。仕事でミスをして迷惑をかけてしまい、自分の社会人としての自覚不足や怠慢を反省しています。正しい情報を早く伝えること、自分で判断せずに何事も丁寧に進めることを意識して、仕事に臨みたいと考えています。これから経験を積み重ね、成長していきたいと思います。

(神前)

## ★傳設計に入社して★